

## 第1学年家庭科学習指導案

指導者(家庭領域専攻) ○○○○

(指導担当教員 ○○○○)

1. 日時 平成20年9月19日(金曜) 第2校時 (9:45~10:35)

2. 学年・組 第1学年1組 計40名

3. 場所 第1学年1組 教室

4. 題材名 よりよい衣生活を創造する

### 5. 題材の目標

(関心・意欲・態度)

- ・衣生活をとりまく状況について関心をもつ。

(知識・理解)

- ・衣服の適切な購入、洗濯、保管について理解する。
- ・資源や環境に配慮した衣生活やユニバーサルデザインについて理解する。

(思考力・判断力)

- ・実生活での衣服管理において適切な判断ができる。

### 6. 題材について

#### ①題材観

高度経済成長期以降、既製の大量生産、大量消費が始まり、現在では膨大な量の衣服が流通している。衣服は世界中から輸入され、安価で丈夫なカジュアル衣料や高価なブランド商品が普及するとともに、目まぐるしく変化する流行によって衣服の使用期間はその耐用年数に比べて著しく短い。使用できる衣服が大量に廃棄されている。一方、衣服の手入れについてみると、多量の洗剤を使用したり、汚れたから洗うのではなく、着用したら洗ったりというように必要以上に洗濯をしている実態がある。

しかし、地球環境問題の悪化により、衣服の大量廃棄や必要以上の洗剤の使用、多量の洗濯排水といった生活スタイルを見直す時代に入っている。限りある資源を有効に活用するためには、適切な衣服の購入や洗濯および保管についての知識や技能の習得が不可欠であり、環境に配慮した生活を実践することが求められている。

本題材では、自分の所持している衣服の点検を通じて適切な衣服の量や手入れの方法について扱われる。購入の際には、(1)サイズ、(2)取扱い絵表示、(3)組成、(4)はっ水性、(5)表示者名および連絡先、(6)原産国、(7)価格などを確認する必要がある。(1)と(2)はJIS(日本工業規格)、(2)(3)(4)(5)は家庭用品品質表示法および繊維製品品質表示規程(経済産業省)、(6)は公正取引委員会で義務づけられている。なお、工業標準化法の改正(平成16年6月)に基づき、JISマーク表示制度が平成17年10月に改正された。さらに、外国製品にはISO(国際標準化機構)による取扱い表示記号が付いている衣服もある。

そこで本題材では、生徒がこれらの表示の意味を理解し、購入の際には表示を確認して適切な選択ができるようにすることをねらいとしている。洗濯については、洗浄の科学と洗濯排水が環境に及ぼす影響について理解し、そして、衣料資源のリサイクルや環境に配慮した洗濯について考え、実践できるようになること、さらに、すべての人々が快適な衣生活を送るために、衣服の安全性および障害のある人や高齢の人々のためのユニバーサルデザインについて理解することをねらいとする。

## ②生徒観

本クラスの生徒は、人と衣服との関わりや衣服の機能について学習し、繊維の種類やその特徴および性能について既習している。本題材ではそれらの知識をもとに衣服の購入や手入れについて考える。衣服の購入については多くの生徒が自分で購入しているが、流行やデザインを重視し、材質、性能、サイズ、手入れの方法などの情報についての関心は薄く、中学校で基本的な学習をしている。しかし、表示についての知識は十分ではなく、また、洗濯や保管に関しては家族に任せている場合が多いと考えられる。

生徒の多くは快活で友人関係も良好である。グループ活動では積極的に意見を出し合うなど、意欲的に取り組む。したがって、自分の所持している衣服を点検し、気づいたことをグループでまとめることも積極的にできそうである。また、知的好奇心の強い生徒が多いので、洗濯については洗浄の仕組みについて科学的側面からも十分に考察できるであろう。

## ③指導観

第一次では、最初に自分の衣生活を点検させる。事前にチェック表を配布し、衣服の所持数と利用状況、補充の必要性などについて調査させる。それをもとにグループで気づいた点を話し合い、全体で発表させ、衣服を購入する際に注意する点について確認させる。次に、体操服の表示を確認させ、教科書を参照して表示の意味について調べ記入させる。さらに、ワークシートを使用して表示の種類と意味を確認し、購入の際には表示を読み取って情報を収集し適切に判断することの重要性について理解させる。

第二次では、洗濯の種類と洗剤の種類やその働きについて理解させる。最初に、湿式洗濯と乾式洗濯の違いについて考えさせ、ドライクリーニングなどの商業洗濯に出す際の注意点を確認させる。次に、湿式洗濯について、洗剤の種類と特徴をプリントや教科書の表から確認し、ビデオ教材を使用して界面活性剤を中心にその科学的メカニズムについて理解させる。最後に、洗濯の手順や注意点について理解させる。

第三次では、衣服資源のリサイクルについて考えさせる。第一次の学習で使用したチェック表をもとに使用していない衣服の活用方法についてグループで話し合い、発表させる。次に、社会全体の衣服資源のリサイクルについて、その実態を押さえ、自分のできることと社会全体で取り組むべきことを考えさせる。さらに、洗濯についても環境に及ぼす影響について理解させ、自分の生活や社会全体で取り組むべきことを考えさせる。

第四次では、事前に高齢の家族や近隣の高齢者に対して、「衣服で困っている点」について聞き取り調査をさせる。それらの結果をグループで話し合い発表させ、高齢者の衣服について考えさせる。次に、新聞記事や教科書からユニバーサルデザインや衣服の安全性について理解させ、すべての人が快適な衣生活を行うために必要な点について考えさせる。

## 7. 指導計画（全4時間）

第一次 衣服の購入・・・1時間（本時 1 / 1）

第二次 衣服の手入れ・・・1時間

第三次 衣生活と環境・資源・・・1時間

第四次 すべての人が快適な衣生活を・・・1時間

## 8. 本時の学習

### ①本時の目標

- ・自分の衣生活の問題点について考えようとする。(関心・意欲・態度)
- ・衣服の入手の際に注意する点について理解する。(知識・理解)
- ・衣服の表示について理解する。(知識・理解)
- ・衣服の表示を正しく読み取ることができる。(思考力・判断力)

### ②本時の展開

次ページに記載。

### ③評価(の観点と方法)

- ・自分の衣生活の問題点について考えようとしていたか。
- ・衣服の入手の際の注意点が理解できたか。
- ・衣服の表示について理解できたか。
- ・衣服の表示を正しく読み取ることができたか。

### ④板書計画

#### 衣服の購入

##### 1 衣生活を点検しよう

\*問題点をまとめてみよう

- ・死蔵品が多い。
- ・衝動買いが多い。
- ・流行のものは着用期間が短い。
- ・洗濯でいたんでしまった。
- ・サイズが合わない服が多い。

##### 2 衣服の入手

\*衣服を購入するときに注意する点

- ・表示をみる。
- ・サイズを確認する。
- ・試着する。
- ・デザインや縫製をみる。
- ・価格をみる。

##### 3 衣生活と表示

\*体操服の表示を確認しよう

組成表示、取扱絵表示、サイズ表示、  
原産国表示、表示者の表示、その他の表示

##### 4 様々な表示

- ・法律：家庭用品品質表示法、消防法、  
不当景品類および不当表示防止法
- ・JIS：日本工業規格
- ・ISO：国際標準化機構
- ・デメリット表示

### ⑤準備物

生徒：チェックシート、ワークシート、体操服

### ⑥資料等

ワークシートおよびワークシートの解答（本時の展開の後に添付）。

②本時の展開

○主なる指示・発問 ■評価

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点・支援・評価 (教師の活動)	準備物・資料など
導入 3分	1. 前時の学習の復習 ・ 衣服素材についての復習。	○「前回までは繊維製品の種類と特徴について学習しました。繊維の種類と特徴を教科書で確認しなさい。」 ・ 繊維製品の種類と特徴について確認させる。	
展開 44分	衣生活を点検しよう		チェックシート
	2. 本時の学習内容を知る。 ・ チェックシートから自分の衣生活の問題点を考える。 ・ グループで話し合い、まとめる。 ・ 着用していない衣服が多い。 ・ 同じ服ばかり着ている。 ・ サイズが合わない。 ・ 流行おくれの服は着ていない。	○「今回は衣服の購入について学習します。前回配布したチェックシートを出しなさい。自宅で自分の衣服をチェックしましたか。チェックしていない人はわかる範囲で記入しなさい。」 ○「チェックシートをもとに、気づいたことをグループで話し合いなさい。」 ・ チェックシートに記入できているか確認する。 ■自分の衣生活について考えようとしているか。	
	3. 衣生活の問題点について考える。 ・ グループで話し合ったことを発表する。 ・ 死蔵品が多い。 ・ 衝動買いが多い。 ・ 流行のものは着用期間が短い。 ・ 洗濯でいたんでしまった。 ・ サイズが合わない服が多い。	○「グループの意見を発表しなさい。」 ・ 購入方法に問題があることを気づかせる。 ■衣生活の問題点について気づいているか。	
	衣服の入手		
	4. 衣服の購入について考える。 ・ 衣服を購入するときに注意する点を考える。 ・ 表示をみる。 ・ サイズを確認する。 ・ 試着する。 ・ デザインや縫製をみる。 ・ 価格をみる。	○「衣生活を点検することで衣服の購入に問題があることが確認されました。次に、購入の際に注意すべき点を発表しなさい。」 ・ 表示について気づかせる。 ■衣服の購入について考えようとしているか。	
	衣生活と表示		
	5. 表示について考える。 ・ 表示をみてノートに記入する。 ・ 意味を考え、教科書などで確認して記入する。 ・ 組成表示、取扱絵表示、サイズ表示、原産国表示、表示者の表示、その他の表示について確認する。	○「表示を確認するという意見がでしたが、体操服の表示を確認しなさい。その記号と意味をノートに記入しなさい。」 ・ 忘れた生徒にはグループの生徒のもので確認させる。 ・ 中学校での学習と結びつける。 ・ 教科書で確認させる。 ■表示について考えようとしているか。	体操服
	6. 表示の種類と意味を理解する。 ・ 説明を聞き、ワークシートに記入する。 ・ ISO表示とJIS表示の違いについて理解する。	○「今、確認した表示以外にも多くの表示があります。それらについてワークシートで確認しながら説明します。」 ・ ワークシートを配布する。 ○「説明を聞き、ワークシートの空欄に記入しなさい。」 ・ JIS表示、ISO表示について理解させる。 ■表示について理解しているか。	ワークシート
まとめ 3分	7. まとめ ・ ワークシートを完成させる。 ・ 次の内容を聞く。	○「ワークシートのすべての空欄に記入できましたか。質問のある人は挙手しなさい。」 ・ 質問に答える。 ○「次の時間は衣服の手入について学習します。」	

(⑥資料等(ワークシート&ワークシートの解答))

年 組 番 氏名

◎表示 (解答)

O洗いや			Oクリーニング		
JIS	説明	ISO	JIS	説明	ISO
	温度は( )でを限度とし、洗濯機の温水または( )がよい。			ドライクリーニングができる。溶剤は( )または石油系のもを使用。	
	温度は 30℃を限度とし、細かい手洗いがよい。洗濯機は( )。			ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のもを使用する。	
	( )は出来ない。 ※手洗いでよい。			ドライクリーニングはできない。	

ドライクリーニングとは?  
水洗いで済まないもの(色落ち、縮み)を乾燥機で乾燥するもの

O漂白

JIS	説明	ISO
	( )による漂白が出来る。	
	塩素系漂白剤による漂白が出来る。	

塩素系漂白剤…漂白力に優れ即効性がある  
!! 注意!! 色柄物、毛織物には使えない  
・( )漂白剤…漂白力は劣るが幅広く使える (毛、絹を除く)

Oアイロン

JIS	説明	ISO
	アイロンは 210℃を限度とし、高い温度(180~210℃まで)で掛けるのがよい。	
	アイロンは 160℃を限度とし、中間度の温度(140~160℃まで)で掛けるのがよい。	
	アイロンは 120℃を限度とし、低い温度(80~120℃まで)で掛けるのがよい。	
	アイロン掛けはできない。	

O折り方(JISのみ) Oタンブル乾燥(ISOのみ)



年 組 番 氏名

◎表示

O洗いや			Oクリーニング		
JIS	説明	ISO	JIS	説明	ISO
	温度は( )でを限度とし、洗濯機の温水または( )がよい。			ドライクリーニングができる。溶剤は( )または石油系のもを使用。	
	温度は 30℃を限度とし、細かい手洗いがよい。洗濯機は( )。			ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のもを使用する。	
	( )は出来ない。			ドライクリーニングはできない。	

ドライクリーニングとは?

O漂白

JIS	説明	ISO
	( )による漂白が出来る。	
	塩素系漂白剤による漂白が出来る。	

塩素系漂白剤…漂白力に優れ即効性がある  
!! 注意!! 色柄物、毛織物には使えない  
・( )漂白剤…漂白力は劣るが幅広く使える (毛、絹を除く)

Oアイロン

JIS	説明	ISO
	アイロンは 210℃を限度とし、高い温度(180~210℃まで)で掛けるのがよい。	
	アイロンは 160℃を限度とし、中間度の温度(140~160℃まで)で掛けるのがよい。	
	アイロンは 120℃を限度とし、低い温度(80~120℃まで)で掛けるのがよい。	
	アイロン掛けはできない。	

O折り方(JISのみ) Oタンブル乾燥(ISOのみ)



O記号などを付配する場合



※ネットを使用するもの  
※あて布とは?

※アイロンは 210℃を限度とし、高い温度(180~210℃まで)で掛けるのがよい。

O折り方(JISのみ) Oタンブル乾燥(ISOのみ)

